

保護者の皆様

札幌市立手稲中央小学校

校長 千歩 正彦

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

本年度6年生を対象に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果について、概要をお知らせいたします。6年生については、既に個人票を配付しておりますが、本校の課題と今後の取組についてもご理解いただければと思います。なお、領域全体で全国平均を上回っているものについても、個々の問題に着目して分析し、更なる向上に向けた課題と改善の方向を示しています。

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	> 学年別漢字配当表に示されている漢字の大きさ、配列に注意して書くこと。	> 各学年で配当されている漢字の習熟を図り、日常生活の文の中で漢字や仮名の大きさ、文字列を整えて書く活動を充実させる。
「情報の扱い方に関する事項」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	> 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うこと。	> 情報を整理する場面で、印を付いたり、情報と情報を線でつないだりするなどして、情報と情報との関係を視覚的に捉える活動を充実させる。
「我が国の言語文化に関する事項」 △全国平均より上回っている。	> 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。	
「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	> 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	> 話し合いの目的や方向性、聞き手の求めていることを知り、それらを踏まえて、展開や内容を想定し、伝え合う内容を検討する場を充実させる。
「書くこと」 △全国平均より上回っている。	> 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くこと。	
「読むこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	> 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	> 言葉の意味や様子を確認すること。そして、場面によって登場人物の行動や会話がどのように変化したかを考えながら、心に残ったところとその理由を交流する活動を充実させる。

【算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>「数と計算」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢問題場面の数量の関係を捉え、問題の文脈に沿って図などに表し、式に表すことができること。 ➢除数が小数である場合の除法の計算をすることができること 	<ul style="list-style-type: none"> ➢解決方法の見通しをもたせるため、問題場면을図に表し、図から式を考える活動を充実させる。 ➢具体物を用いたり、図に表したりしながら、意味の理解を基にして、計算力を高める活動を充実させる。
<p>「図形」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢直方体の見取図について理解し、かくことができること。 ➢円柱の直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解していること。 ➢球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができること。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢各図形の観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素とその関係に着目し、図形を考察したり、構成したりする活動を充実させる。
<p>「変化と関係」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること。 ➢速さの意味について理解していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢速さなどの単位量当たりの大きさについて、興味関心に基づいた問題の中で扱い、図に表して考えたり、問題場面と比べて、妥当かどうかを判断したりする活動を充実させる。
<p>「データの活用」 △全国平均より上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢日常の場面から疑問をもち、主体的に問題を設定させる。そして、どのようなデータが必要かを考え、データの特徴や傾向を捉えながら判断や考察ができるような活動を充実させる。

【問題形式】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>国語・算数の両教科とも、記述式の問題における無回答率が高く、その直後の関連する短答式の問題(単語で答えるような問題)でも無回答率が高い傾向がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢分かったことや求め方などを順序立てて記述すること。 ➢分からない問題でも、あきらめずに、粘り強く取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢日常の学習の中で、自分の考えや分かったことなどを、自分以外の他者に説明するように書く活動を充実させる。

【質問紙】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>「理科の勉強は好きですか」 △全国平均より上回っている。</p> <p>「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」 ▼全国平均より下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢自ら疑問や課題をもち、主体的に解決すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢日常の学習の中で、目標や計画を共有しながら、ICTを効果的に活用し、主体的な展開になるような授業を充実させる。